

第38号議案

シンポジウム「文京歴史探訪～柳町から発掘された文京の歴史」及び発掘成果展「発掘された跡見女学校～明治・大正・昭和の女学校生活～」の共催名義の使用について

上記の議案を提出する。

令和4年8月9日

提 出 者 文京区教育委員会

教 育 長 加藤 裕一



文京区教育委員会 **共催** 後援 名義使用申請書

2022年 7月 11日

文京区教育委員会 殿

申請者 (申請団体) 跡見学園女子大学  
 地域交流センター  
 〒112-8687

住所 (所在地)

代表者名 (ふりがな) どの ようへい  
 土居 洋平

代表者連絡先 03(3941)7420  
 (事務担当者) d-chiiki@atomi.ac.jp  
 (事務担当者:新垣 夢乃)

下記事業を実施するに当たり、文京区教育委員会 **共催** 後援名義を使用したく、申請します。

記

事業名	○シンポジウム 「文京歴史探訪～柳町から発掘された文京の歴史～」 ○発掘成果展 「発掘された跡見女学校～明治・大正・昭和の女学校生活～」	
実施期間	2022年 10月 17日 (月) から (6日間) 2022年 10月 22日 (土) まで シンポジウムは10月22日開催。発掘成果展は10月17日から22日まで開催。	
実施場所	跡見学園女子大学文京キャンパス ブLOSSAMホール	
事業内容	目的※	2020-2021年度にかけて文京区教育委員会によって実施された「柳町遺跡」発掘調査の成果等を区民向けに公開するシンポジウムと発掘成果展を開催します。それによって身近な地域の歴史について最新の成果に触れる機会を提供し、埋蔵文化財を活用した教育普及の機会としたいと考えております。
	内容	柳町遺跡の発掘資料、跡見学園の資料から柳町地域の先史から近代までの歴史を紹介します。(シンポジウム) 題名：文京歴史探訪～柳町から発掘された文京の歴史～ 主催：跡見学園女子大学地域交流センター 共催：文京区教育委員会 開催日：2022年10月22日(土) 13:00～15:30 会場：跡見学園女子大学文京キャンパス ブLOSSAMホール 定員：200名 申込：FAX、メール、またはFormsにて「文京歴史探訪観覧希望」、氏名、郵便番号、住所、電話番号、観覧人数を明記の上、下記いずれかの宛先へ申込。 (展示会) 題名：発掘された跡見女学校～明治・大正・昭和の女学校生活～ 主催：跡見学園女子大学地域交流センター 共催：文京区教育委員会 開催日：2022年10月17日(月)～22日(土) 09:00～16:00 会場：跡見学園女子大学文京キャンパス2号館1階ブLOSSAMホール前ロビー 入場：一般公開(無料)
	対象者	一般市民 (参加予定人員200人)
	参加費	無料
他団体の共催、後援等 (申請中、承認済の別)	なし	
備考	申請書類一式は、教育委員会会議資料として、HP等で公開いたします。 公開することに <b>同意する</b> ・ 同意しない	

※ 「目的」は、教育委員会が後援するに当たり、「区立幼・小・中の児童・生徒にとって、どのようなメリットがあるのか」という視点で記載してください。

2022年7月11日

文京区教育委員会 御中

跡見学園女子大学  
地域交流センター

## 2022年度シンポジウム企画書

### 1. 概要

題名：文京歴史探訪～柳町から発掘された文京の歴史～

主催：跡見学園女子大学地域交流センター

共催：文京区教育委員会（予定）

予算：跡見学園女子大学地域交流センターが支出（利益はなし）

開催日：2022年10月22日（土）13：00～15：30

会場：跡見学園女子大学文京キャンパス プロッサムホール

定員：200名

（会場収容人数446席。新型コロナウイルス感染症対策のため200名と設定。）

申込：FAX、メール、またはFormsにて「文京歴史探訪観覧希望」、氏名、郵便番号、住所、電話番号、観覧人数を明記の上、下記いずれかの宛先へお申し込みください。

E-mail [d-chiiki@atomi.ac.jp](mailto:d-chiiki@atomi.ac.jp) FAX 03-3941-8333

Forms



目的：柳町遺跡は、かつて跡見女学校が位置しているなど、本学園にとってもゆかりのある地となっています。この柳町遺跡では、2020-2021年度にかけて文京区文化財保護係によって発掘調査が実施され、多くの考古学的・歴史学的な成果が得られました。また、柳町遺跡にはかつて跡見学園が位置しており、日本の女性教育においても重要な地域でした。そこで、発掘調査の成果と跡見学園の研究成果をあわせて、柳町遺跡から文京区の地域の歴史をみていくシンポジウムを開催いたします。

謝礼：1講師20,000円

報告書：シンポジウム終了後、報告内容を文字起こしした原稿から、ブックレットを刊行予定。

問い合わせ先：跡見学園女子大学地域交流センター

[d-chiiki@atomi.ac.jp](mailto:d-chiiki@atomi.ac.jp) 03-3941-7420

### 2. 報告内容についての案

13：00～13：05	開会あいさつ（小仲信孝・跡見学園女子大学 学長）
13：05～13：10	来賓あいさつ（加藤裕一・文京区教育委員会 教育長）（予定）
13：10～14：10	先史時代から近代の柳町遺跡（仮）（齊藤直美・文京区教育委員会文化財保護係）
14：10～14：40	休憩&展示紹介
14：30～14：50	柳町遺跡発掘調査こぼれ話（仮）（小野麻人・テイケイトレード株式会社）
14：50～15：10	跡見学園史における柳町時代（仮）（泉雅博・跡見学園女子大学 名誉教授）
15：10～15：25	質疑応答
15：25～15：30	閉会あいさつ（土居洋平・跡見学園女子大学 地域交流センター長）

### 3. シンポジウムにあわせた発掘成果展

題名：発掘された跡見女学校～明治・大正・昭和の女学校生活～

主催：跡見学園女子大学地域交流センター

共催：文京区教育委員会

予算：跡見学園女子大学地域交流センターが支出（利益はなし）

開催日：2022年10月17日（月）～22日（土）09:00～16:00

会場：跡見学園女子大学文京キャンパス2号館1階

入場：一般公開

目的：柳町遺跡からの出土品のうち、跡見学園に関連する出土品の展示会を行う。

展示品：●はモノ資料 ▲はデータ資料 ■は跡見学園所蔵資料 黄色掛けは文京区所蔵資料

柳町遺跡出土品展 展示資料（案）		
点数	資料名	備考
1	▲第82図 第1面 遺構配置図	報告書 p115。文京区所蔵
2	▲発掘現場の写真	10点程度。文京区所蔵
1号建物跡関連		
3	■完成直後の跡見家住宅（1888年頃）	跡見所蔵
4	■柳町旧校舎（1888年頃）	跡見所蔵
5	▲1号建物跡全景（南から）	報告書 p131。文京区所蔵
6	●B-YC-C-226-1（全治水）	報告書 p132。文京区所蔵
7	●櫛	報告書 p132。文京区所蔵
池跡及び杭列関連		
8	■寄宿生の集合写真（1898年）	跡見所蔵
9	▲写真 226 013 号遺構完掘（南から）	報告書 p125。文京区所蔵
10	▲写真 227 013 号遺構完掘（南東から）	報告書 p126。文京区所蔵
11	●B-YC-BC-020a-12（硯）	報告書 p121。文京区所蔵
12	●B-YC-BC-020a-13（ダイヤモンド）	報告書 p121。文京区所蔵
13	●B-YC-BC-020a-14（銀座丸八松澤）	報告書 p122。文京区所蔵
14	●B-YC-BC-020a-15（美顔水）	報告書 p122。文京区所蔵
15	●B-YC-BC-020a-6（車輪）	報告書 p122。文京区所蔵
16	●B-YC-BC-020a-7（葉莢）	報告書 p122。文京区所蔵
17	●020a号遺構出土遺物 陶磁花活	報告書 p122。文京区所蔵
18	●B-YC-BC-013-2（玩具 ピストル）	報告書 p126。文京区所蔵
2号建物跡関連		
19	■杭	保存処理済。跡見所蔵
20	■レンガ	跡見所蔵
21	▲写真 248 2号建物跡西半部分（西から）	報告書 p136。文京区所蔵
3号建物跡関連		
22	■校長新宅 1916年	跡見所蔵
23	▲写真 258 3号建物跡西半分全景（東から）	報告書 p141。文京区所蔵
24	●B-YC-C221・222-1（爛徳利）	報告書 p143。文京区所蔵

### 文京区支援依頼事項

- ・展示用の出土遺物の貸出(柳町遺跡)
- ・広報支援(区ホームページ・SNSでの周知、区公共施設等へのチラシ配布、区報記事掲載等)
- ・シンポジウム 来賓あいさつ(教育長)
- ・シンポジウム 発表者の派遣

### 感染症対策

- ・体調不良者への参加辞退協力依頼
- ・会場内でのマスク着用、入場時の手洗い・手指消毒協力依頼
- ・会場内飲食禁止協力依頼
- ・入場時の参加者確認と非接触型体温計による検温
- ・消毒液の設置、会場換気
- ・感染状況によっては中止

## 事業予算書

事業名	シンポジウム 「文京歴史探訪～柳町から発掘され た文京の歴史～」
団体名	跡見学園女子大学 地域交流センター

収 入                      単 位 : 円		支 出                      単 位 : 円	
跡見学園女子大学 地域交流センター予算	300,000円	講師謝礼 展示ケースレンタル 消耗品購入	60,000円 200,000円 40,000円
計	300,000円	計	300,000円

2022年 7月 11日

(備 考)

2022年7月11日

文京区教育委員会 御中

跡見学園女子大学  
地域交流センター

## 跡見学園女子大学地域交流センター主催シンポジウムの開催実績

### 1. 2019年度開催

- ・事業名：東日本大震災と『記憶』の記録化一試みとしての地域史・写真展・記憶地  
 図・街の復元および関連写真展「心はいつも」(母子避難キャンプ) —  
 詳細は別紙の通り

### 2. 2019年度開催

- ・事業名：コロナ禍のなかの大学の地域交流活動の展開可能性  
 同時開催 パネル展示
- ・日時：2021年12月25日(土) 13時～17時  
 ※計画では16時閉会予定であったが、各大学の学生報告とそれに対する質疑応答が  
 延長したため17時閉会となった。
- ・会場：跡見学園女子大学ブロッサムホール  
 パネル展示は跡見学園女子大学文京キャンパス2号館1階
- ・参加者：シンポジウム 82名  
 パネル展示 88名



(別紙)

跡見学園女子大学および地域交流センター  
主催地域交流事業

(開催日順)

- 事業名** 「東日本大震災と『記憶』の記録化—試みとしての地域史・写真展・記憶地図・街の復元」  
および関連写真展「心はいつも」(母子避難キャンプ)
- 主催** 跡見学園女子大学 後援：文京区 運営：跡見学園女子大学地域交流センター
- 日時** 令和1(2019)年12月21日(土)13時～16時30分
- 場所** 跡見学園女子大学文京キャンパス「プロッサムホール」

地域交流センターでは、文京区の後援のもと、2019年12月21日に公開シンポジウム「東日本大震災と記憶の記録化—試みとしての地域史・写真展・記憶地図・街の復元—」を実施しました。

地域交流センターの組織拡充と合わせて、本年度より東日本大震災の被害を受けた地域の方々との交流を本格化させています。すでに本学で行なわれている特色ある地域交流活動に加え、今後、被災地との交流も、柱となっていくことが期待されています。

本シンポジウムは、このような動きを背景に、「どのように被災地とかがわっていくのか」という「問い」を深めるために開催されました。シンポジウムでは、魅力的な成果を生み出されている4組5名の講師の方にご登壇いただきました。

**報告タイトル一覧**

第一報告：西村慎太郎氏(国文学研究資料館)

「原子力災害地域の歴史を未来へ紡ぐ—大学誌という方法」

第二報告：吉田智彦氏(写真家)・鹿目久美氏(母ちゃんず)

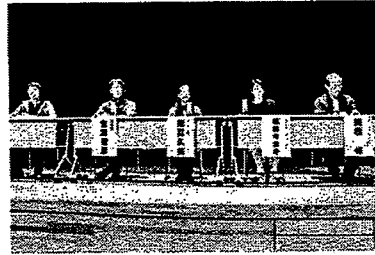
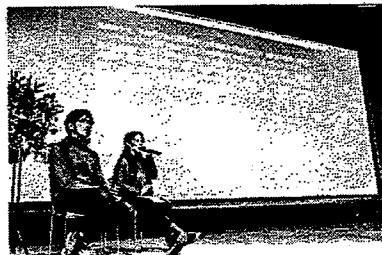
「笑顔の向こうがわ—保養キャンプで出会った母子の日常にある矛盾と不安」

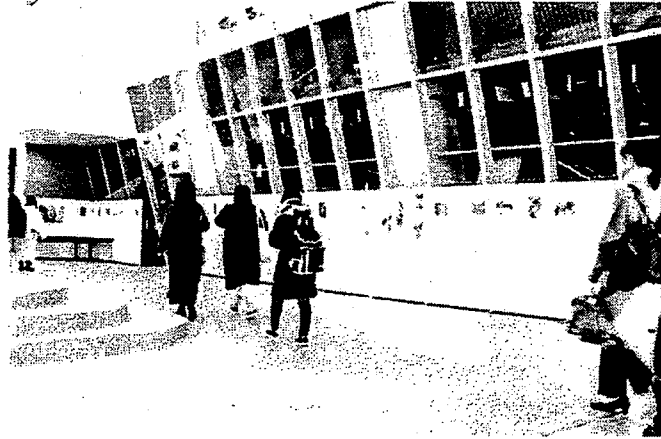
第三報告：植田今日子氏(上智大学)

「『更地の向こう側』の記憶地図—気仙沼市唐桑町宿での試みから」

第四報告：梶橋修氏(神戸大学)

「ふるさとの記憶—「失われた街」模型復元プロジェクト」





また、会場となったプロッサムホール前では、関連する写真展「心はいつも子どもたちといっしょー3.11からはじまった、ある母子キャンプの7年」(写真：吉田智彦氏)を開催いたしました(期間2019年12月10日～24日)。約40点の写真が展示されました

**ゆかり 跡見学園女子大学地域交流センター年次報告書1**

発行日：2020年3月31日  
発行者：跡見学園女子大学地域交流センター  
〒112-0012 東京都文京区大塚1丁目5-2  
電話：03-3941-7420  
印刷：セントラル印刷(株)  
ISSN：2435-516X

